



あのイチロー選手のお兄さんが登場！コラムを読みつつ探してみよう。

イラストレーション/高橋 潤 (スイスイ)

旬のアイテムを体験してきました！

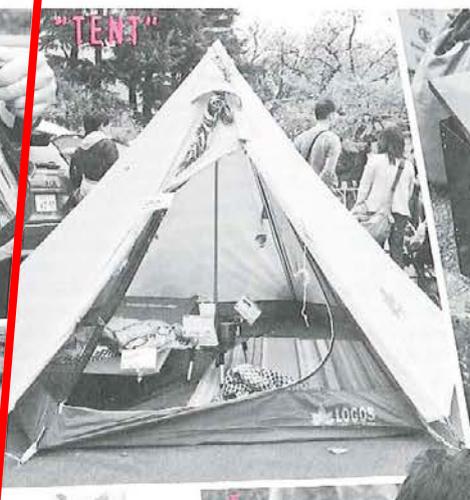
**お湯を入れるだけの簡単設計。コンパクト、優秀なコーヒー。**

薄型形状でザックに入れてもかさばらない「GROWER'S CUP」。ドリッパーが袋の中で浮いているような構造で、ペーパードリッブさながら、薫りも味も本格的に楽しめる。



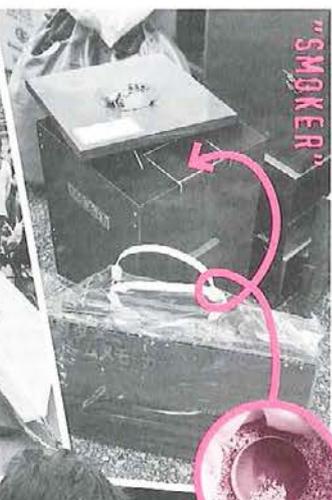
**流行のテビー型テントも、軽量、コンパクトで存在感は大。**

折り畳むと、なんと50cm、総重量も約3.6kg。ジュラルミンポール一本で組み立てるテント。インナーテントがフルメッシュで夏場も快適。これからの行楽に携行できそう。



**現地で手に入れた食材を、その場で燻製にできる！**

手提げで持ち運びも可能なすぐれものは、重量わずか5kg。使わないときは折り畳んで収納できるので便利。スモークウッドやチップがあればどこでも簡単に燻製が作れます。



**過酷な道を想定したセットで、その実力を試乗体験！**

北米向けに開発された《TOYOTA FJクルーザー》の試乗コーナー。オフロードでタフな実力を発揮するサスペンションなどの機能を実際に体験できた。頼もしい。



**子供もナイフに触れられる、貴重な体験ブース。**

言わずと知れた必携の定番アイテム。今回ビクトリノックスの体験ブースで使用されたのは子供や女性にも握りやすい少し小型のナイフ、《スモールオフィサー》シリーズ。



国内最大級のアウトドアイベントで、

撮影・文/石原敦志

「春の嵐に見舞われる」。そんな予報の朝、代々木公園へ。「アウトドアのイベントなら、全天候、もちろん嵐もOKでしょ?」。担当編集者はそんなことを言っていた。その名も『アウトドアデイ ジャパン 2013』。アウトドアシーズンに向け、旬のアイテムを先取りするのが目的だ。会場は大盛況。子連れファミリー、カップルや散歩がてらの人も多く見られる。今日のアウトドアへの関心の幅広さが窺える。

はじめに目を引いたのはコーヒー。お湯を注ぐだけで簡単に本格的な味が楽しめる《GROWER'S CUP》。「山頂で本格的なコ

ーヒーが飲みたい」と豆、ミルク、ドリッパー、ペーパーなどを持ち運んでいた身としては、軽量のバックとお湯があればできるこのコーヒー、味はどうなのよ?と淹れたのをいただく……うまいではないか。薫りも申し分ない。一度に500mlのコーヒーが作れるため「お嬢さんたちもいかが?」と山頂でつづく山ガールたちにおいしいコーヒーを振る舞う自分を想像しつつ、次のブースへ。

続いて視界に飛び込んできたのは、男のロマン、《TOYOTA FJクルーザー》。特設コースを走り、いかにこの車が過酷な環境

下にも対応できるかを体感。相当過酷なオフロードを想定して設置された丸太の凸凹段差コースを進む。なかなか街で試乗してもこうした状況を想定した体験はできないのではないかと、と思うと、当日イベントならではのお得感。

他にも、キャンプで皆に自家製ベーコンを振る舞うことができる折りたたみホームスモーカー、アウトドアの重要アイテムであるナイフの体験ブースなどなど。紹介し切れないほど盛りだくさんで、心を奪われっぱなし。一日中、いやテントで一泊しても楽しめそうなイベントでした。

JAPAN 2013